

地域企業連携体の運営ハブを目指す 起業コンテストで学生の事業意識を刺激

自動車関連分野を中心とした治工具の切削加工を主事業としている。最新の装置やプログラムを駆使した1,000分の1mm単位での精密な部品加工・測定や、製造機械の設備ライン構築からメンテナンスまでの一貫対応を得意とする。新規事業開発に取り組むとともに、地域からより多く仕入れ、地域外により多く販売する「コネクターハブ企業」としての実績を背景に、「地域内の同業企業が連携して、品質・生産性の向上、受注の拡大、信頼性の確保を図る集合体の形成」を構想し、挑戦している。

- 所在地 栃木県真岡市鬼怒ヶ丘1丁目15番地10
- 設立 1995年
- 電話/FAX 0285-80-1361/0285-82-1053
- 資本金 10,000万円
- URL <http://aoki-seisakuso.co.jp/>
- 従業員数 90人
- 代表者 代表取締役 青木 圭太



同業他社と連携し、パートナーグループとして活動幅を拡大

事業環境の変化に鑑みて、従来競合してきた同業他社に対する見方を、ライバルからパートナーへと大転換。自社の得意案件は自社で手掛け、パートナーの得意案件は任せるような「地域のパートナー企業全体で「グループ」体制を形成し、全体としての対応力および受注量・売上の拡大」を志向している。そこで、自社が窓口となり、県内外の広範な取引先から案件を一括して受注し、パートナーに外注する形で割り振る形態の業務提携を推進し、自社とパートナーの安定的な売上確保・売上向上を図っている。



成長を可能にする環境を整備

パートナー企業の社員を自社に受け入れ育成し、信頼感を醸成

業務提携したパートナー企業の後継者や社員を、自社への出向・派遣として受け入れて技術提供したり、自社の技術担当者をパートナー企業に派遣して、製品の品質・精度向上や生産性向上・時間短縮に資する加工方法等を指導することにより、地域のパートナー企業「グループ」全体の育成・技術向上を図っている。こうしたパートナーの売上確保と社員育成に向けた自社の取り組み全体が、パートナーとの信頼感の醸成に結びついており、業績は2017年度において前期比159%の29億円を計上した。



ものづくり技術で想像をカタチに

学生にビジネスプランを考える機会を与えるコンテストの運営

栃木県内の学生にビジネスプラン発表の場を提供する「実践的起業家教育プログラム」である「とちぎアントレプレナー・コンテスト」は、2018年度に第6回を迎えた。社長が県やメディア等に働きかけ自らの資金を提供して始まったものであり、栃木県内の中小企業経営者の有志が集い運営している。優勝したビジネスモデルのうち4つはすでに企業化されており、応募者は年々増加傾向にある。本コンテストは、多くの学生の目をビジネスに向かわせ、事業の仕組みを主体的に考える機会となっている。



アントレプレナーコンテスト表彰式にて